

ポカミスゼロの現場をつくる23の要因と対策実践法

～社員のモラルアップにより品質を劇的に改善するノウハウ～

会場受講/WEB受講

WEB受講の場合は
アーカイブ配信付き
(7日間視聴可能)

★日時：2025年8月28日（木）10:00～16:30

★受講料：1名 49,500円（消費税込）

★会場：TH企画セミナルームA

同一セミナー同一企業同時複数人数申込みの場合 1名44,000円

都営浅草線・三田線：三田駅 徒歩3分（A9出口）

★受講資料：製本テキスト（受講料に含む）

JR田町駅：徒歩7分（三田口）

※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円（内税）

“うっかり”が消えない現場に、真の再発防止策を！

人のせいにしない、しくみで防ぐ！チェックリストやダブルチェックだけでは防げないヒューマンエラーを、脳科学・標準整備・教育・モラルマネジメントで根本から撲滅。

23の要因別対策と現場で即ちえる仕組み、さらに“潜在化するポカミス”への予防策まで網羅します。“ゼロポカ”を目指す、全管理者・作業者必修の特別セミナー！！

【講師の言葉】 ポカミス起因（人起因）の不良は発生していませんか？うっかりポカミスが発生したりしなかったり、ポカミス対策をしているがゼロにならない生産現場はポカミスが潜在化している可能性があります。特に、手直し・修正・やり直しができる製品や作業ではいつも通り作業しているつもりでもうっかりポカミスが発生することがあります。

ポカミスとは、人（作業）のミスにより品質不具合が発生することです。品質不具合＝不良になれば、ロスコストが発生するので顕在化されます。これら顕在化されたポカミス対策はもちろん重要です。従来のポカミス（問題）が発生したら原因を追究して対策するという改善の流れは、顕在化したポカミス対策ではやりがちです。ですが、うっかりポカミスのように発生したりしなかったりするポカミスを未然に防ぎ、ポカミスゼロを実現するためには、予め、ポカミスを発生させる要因へ対策しておく必要があるのです。

現状の現場作業で、人により作業にかかっている時間が違う（バラツキがある）、人により作業のやり方（手順）がちょっと違う（作業手順を入れ替えている）、標準時間が決まっていない、標準時間は決めているが計算上決めている、標準を守って作業しているか日々管理できていない、などが該当する生産現場ではポカミスが潜在化して不良が発生しているかもしれません。これまでポカミス対策としてチェックシートを追加したり、ダブルチェックを行ったりしているのに、ポカミスがなくならない生産現場には是非、今回ご提供する23の要因・対策の活用をおススメします。

※ポカミス＝ヒューマンエラー（人のミス）のひとつです。

【受講形式】 会場/WEB選択可 ※WEB受講の場合のみ、アーカイブ配信（7日間視聴可能）。

【予備知識】 必要ありません。

【受講対象】 ・生産現場の管理・監督者
・生産現場作業者
・品質管理スタッフなど

【進呈】 ポカミス「ゼロ」徹底対策ガイド（日刊工業新聞社）を進呈します。

【習得知識】 1) ポカミスの23の要因・対策

2) ビデオ標準+AIアドバイザーによる作業者教育のしくみ
3) 作業者モラルマネジメントのポイント

【講師】 株式会社ロンド・アプリウェアサービス コンサルタント 大谷 みさお先生
元 日立東京エレクトロニクス

1. ポカミスゼロへのアプローチ

1-1 基本的な考え方

- ・ポカミスが発生する3つのプロセスを知る
- ・脳の機能を理解してポカミス対策を実施する
- ・集中力はマネジメント項目である
- ・ポカミス23の要因に予め対策することで未然に防ぐことができる（潜在化ポカミスも防げる）
- ・ポカミスは作業者の問題
→ポカミスは職場のしきみの欠陥（職制の責任）と認識して取り組む

1-2 知らなかつた対策

- ・ポカミス教育を実施する重要性を認識する
- ・NG/OKシートを活用してやってはいけないことを示すことで再発を防ぐ
- ・報告書を作成していてもポカミスが防げていない問題点

1-3 標準整備

- ・標準のない作業をやっていないか
- ・標準の7つの不備を解消する
- ・教育・訓練のしきみの重要性（相手に合わせた教え方）

1-4 脳の機能を理解した上でのうっかり対策

- ・記憶ミス対策、自主休憩、体調管理、都合管理、環境改善、
やりにくさの改善、余裕を持った生産計画、整理・整頓（5／10管理）

1-5 判断ミス対策

- ・知っている人に聞く（判断ミス防止のルール）を必ず実行するための手段
：AIアドバイザーの活用（ルールベース型AIの活用）
- ・人による検査作業改善（見逃し・過剰検出の防止）

2. 實践23へのアプローチ：ポカミスにおける整理・整頓の意味

2-1 部品組み立て職場における部品供給の悪さを改善する（飛ばし、欠品などをなくす）

- 2-2 作業中断による作業開始時のポカミスをなくす（作業再開時の確認をしやすくする）

3. 標準整備へのアプローチ

3-1 ない標準を洗い出す（作業標準の棚卸し）

- 3-2 規格の曖昧さの明確化
(定量化されていない、表現がわかりにくい、調整・判断作業がある)

4. ビデオ標準作成へのアプローチ

4-1 新たな教育・訓練のしきみづくり

- （ビデオ標準+AIアドバイザーで標準順守、多能工化、技能伝承を可能にする）

4-2 ビデオ標準作成の7ステップ

- 4-3 やる気につながる教育・訓練運用ポイント

5. モラルアップへのアプローチ：

モラルがあがると生産性は20%向上する

5-1 モラルとは：行動規範

5-2 モラルマネジメント11の施策

質疑・応答

【受講者の声】 品質保証担当をしており、苦情の原因を分類するとポカミスに該当するものの比率が多いと感じていたため、セミナーの題名にひかれて参加しました。参考になる内容でした！

・ヒューマンエラー防止策を講じても再発している中で改善につながるヒントをいただけたと思います。

◆セミナーお申込要領

- ・弊社ホームページの申込欄又は、E-mailかFAXにてお申し込みください。
- ・受付後、受講票・請求書等をメールで送信します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。
- ・受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。

◆申込書：2025/8/28 ポカミスゼロの現場をつくる23の要因と対策実践法
受講形式：会場/WEB ※○で囲んでください

会社名： 部署名：

住所：

TEL：

氏名：

Email：

FAX：

◆申込先

 TH企画セミナーセンター

株式会社TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル5F

TEL: 03-6435-1138 FAX: 03-6435-3685

Email: th@thplan.com

URL: <https://www.thplan.com/>

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

検索

TH企画

→

サイト内

キーワード検索

0828

（開催日）